



本堂



客殿



二度とない人生だから

坂村真民の詩碑



取手保育園

取手には幼稚園も保育園もまだなかった頃、弘経寺（ぐぎょうじ）元住職 金田明進上人はこどもの教育の重要さを思い、このお寺に幼児施設（取手保育園）昭和15年に開設しました。



白山幼稚園

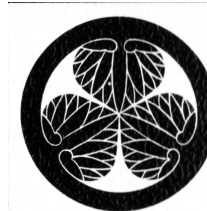
幼児の急増に伴い、白山幼稚園を創設しました。学校法人 和順学園の認可を得て今日に至っています。



大鹿山弘経寺略記



浄土宗
宗紋



弘経寺
寺紋

〒302-0023

茨城県取手市白山2-9-28

第三十一世 金田冬彦

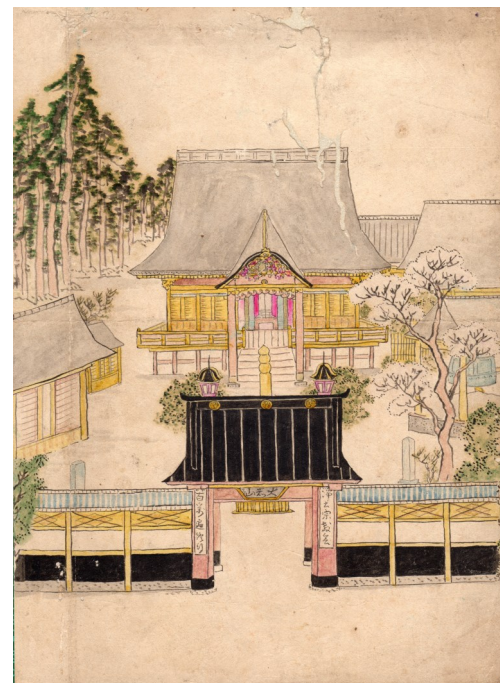
電話：0297-72-0289

Fax：0297-72-6652

大鹿山弘経寺略記

足利時代の開創

おとしがさんしょうじょういんぐきようじ
当山は、大鹿山清浄院弘経寺と称し、応永二十一年（一四一四、足利時代）に嘆蒼良肇上人によって開創された浄土宗の寺院です。
ここは昔、下総国相馬郡大鹿村と言う所で、最初は人家も無い山中に飯沼の弘経寺の分寺として建立された草庵であつたといわれています。



江戸時代の山門、本堂

家康の御朱印寺となる

天正十八年、徳川家康が当地に遊獵の際、案内をした住職の宣旨上人が有徳の僧であつたことから、特に境内外三十石の御朱印を授かるに至り、以後御朱印寺として格式を整え堂宇の規模も拡大されました。

歴代住職の中から学徳兼備の照誉了学上人は、徳川家の菩提樹である芝増上寺の住職に上任されています。



御本尊
阿弥陀三尊像

境内のたたずまい

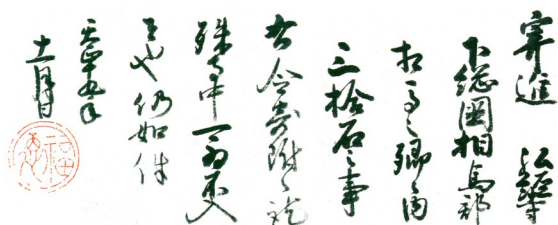
境内には本堂、客殿、鐘楼門のほか英霊観音堂、大師堂、白山神社、取手保育園、白山幼稚園が建っています。徳川時代の広大な寺有地は農地改革でほとんど無くなりましたが長い並木の表参道や樹木に囲まれた庭は、その昔を偲ぶに足り、訪れる人に安らぎを与えてくれます。また夕焼け空を背景にした本堂の情景は極楽浄土を思わせるほど美しいと言われています。



弘経寺の白木蓮(市指定保存樹木)



白山神社



家康公より下附された御朱印状
権現様御朱印 天正十九年十一月